

## びわ湖バレイ

「びわ湖バレイ」は打見山と蓬萊山の間位置しています。琵琶湖西岸の志賀駅からバスで10分移動し、続いてロープウェイに乗ると5分で到着します。秋には緑豊かな溪谷の木々がオレンジ色や赤色に染まり、冬の溪谷は大津や京都の住民の間でスキー場として親しまれています。暖かい時期には、ジップラインや森の上に張り巡らされたロープコースも利用できます。

びわ湖テラスは、それぞれの山頂に施設があります。内海山には、展望台や屋外インフィニティプール、居心地の良いカフェを備えた「グランドテラス」があります。さらに、「ノーステラス」とは廊下でつながっており、屋外インフィニティプールに加えて独自のラウンジやカフェスタンドがあります。蓬萊山の「Café 360」には、アーチ型の大きなウッドデッキがあり、快適な座席やドリンクスタンドが設置されています。両方の山からは琵琶湖が一望でき、琵琶（日本のリュート）の形をした特徴的な湖面を見ることができます。

びわ湖バレイの地域は、地元のお祭り「比良八講」で重要な役割を果たしています。毎年3月26日に行われるこの祈願祭は、内海山の山頂付近にある井戸から水を汲み上げ、琵琶湖に注ぐというものです。近江舞子の湖畔では、大きなかがり火が焚かれます。このお祭りでは、春の始まりを告げるとともに、湖上の安全と湖水の浄化を祈願します。